

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	補助・単独	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	所管課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費(A)	補助対象事業費 (B)=(C)+(D)+(E)+(F)				事業実施状況	1.事業効果 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった	2.事業効果の具体的な理由
								国庫補助額(C)	交付金充当経費(D)	起債額(E)	その他(F)			
1	単独	中小企業生産性革命推進事業	①感染症拡大の影響を受けている事業者の新たな取組を支援するため、感染対策と経済活動の両立に資する設備導入や販路開拓への投資、ITツールの導入に要する経費の一部を補助し、市内産業全般の生産性向上と事業の継続を後押しする。 ②生産性向上に資する設備導入経費等の助成に要する経費に充当。 ③ 18節-負担金補助及び交付金 (内訳) ・ものづくり補助金採択事業者 500千円×10社=5,000千円 ・持続化補助金採択事業者 150千円×80社=12,000千円 ・IT補助金採択事業者 300千円×10社=3,000千円 13節-使用料及び交付金・セミナー会場借上料 150千円 10節-需用費・消耗品費 50千円 ④市内事業者	工業振興課	R3.4.1	R4.3.30	2,764,000	2,764,000		2,764,000		補助件数 11件 2,764,000円	①非常に効果的であった	市内の中小企業者が新たな取り組みに要する経費に対し、国、長野県へ上乗せを行い、市内の中小企業者が行う試作品開発や販路拡大、情報通信技術を活用した業務効率化等による生産性の向上や新たな受注開拓を促進できた。
2	単独	生活困窮者の自立にかかる一時生活支援事業	①感染症の影響により、住居を喪失した者および失業し就労活動を行う者への支援として、一時的に生活環境を整備し、緊急対応体制の強化を図る。 ②緊急を要する一時的な宿泊場所の確保および携帯電話の貸出に要する経費に充当。 ③ 19節-扶助費 (内訳) ・宿泊所確保 6千円×7泊×5人=210千円 11節-役務費 (内訳) ・携帯電話貸出 機種代金 24,640円×2台=49,280円、事務手数料 3,300円×2台=6,600円 通話料 4,800円×12か月×2台=115,200円、改番手数料 2,200円×4回=8,800円 ④地方公共団体	社会福祉課	R3.4.16	R4.3.30	153,181	153,181		153,000		181 生活困窮者福祉電話貸与通話料 117,181円 生活困窮者一時宿泊費 36,000円	①非常に効果的であった	【利用実績】 ・一時宿泊所確保事業 1名 ・携帯電話貸出し事業 5名 事業の実施により、新たな生活拠点の確保や、就労活動の継続により就労に至るなど、事業の目的とする効果が得られた。
3	単独	従業員の生活を守る雇用維持応援事業	①感染症の影響により事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が、従業員の休業により調整し休業手当を支給した際に、雇用調整助成金(対象経費の9/10)の上乗せ補助(残りの1/10)を行うことで、市内事業者の事業継続と雇用の維持を図る。 ②雇用調整助成金の上乗せ補助(対象経費の1/10)に要する経費に充当。 ③ 18節-負担金補助及び交付金 上限300千円×23社=6,900千円 ④雇用調整助成金を受給した市内事業者	工業振興課	R3.4.16	R4.3.18	956,923	956,923		956,000		923 補助件数31件 1,010,833円のうち、956,823円	①非常に効果的であった	感染症の影響により従業員の休業手当を支給した際に、雇用調整助成金の上乗せ補助を行うことで、市内事業者の事業継続及び、従業員の雇用の維持を支援することができた。
4	単独	スクールサポートスタッフ配置事業	①感染症対策に係る業務等を担うサポートスタッフを学校へ配置し、教員の負担軽減を図る。 ②小規模校へのスクールサポートスタッフ2名の配置に要する経費に充当。 ③820千円×2名=1,640千円 (内訳) 01節-報酬 ・報酬@923×4h×5日×40週 03節-職員手当等 ・通勤手当@95×200日 ・期末手当@923×4h×21日×0.65月 04節-共済費 ・社会保険料@1,615,591×12.96/1000 ④地方公共団体	教育総務課	R3.4.16	R4.3.31	1,411,317	1,411,317		1,296,000		115,317 配置人数 2名 報酬費 1,371,752円、通勤手当等39,565円	①非常に効果的であった	SSS(スクール・サポート・スタッフ)が児童・生徒の日々の健康観察や消毒作業等を担当することで、教職員の負担軽減に繋がりを、教職員が本来の業務である児童生徒への指導や授業の準備、教材研究等に専念できる環境を整えることができた。
5	単独	令和3年成人式代替事業	①感染症の拡大防止のため中止とした令和3年成人式の代替として、門出を祝う会の動画配信、また、市の土産品等を対象者へ配布することで、郷土への愛着を醸成する。 ②祝う会の動画配信に要する経費、土産品等の購入、梱包、送付による経費に充当。 ③ 12節-委託料 ・動画配信委託 300,000円×一式=300,000円 10節-需用費 ・土産品等の購入 1,450円×570人=826,500円、ポストカード印刷代 66,000円 消耗品費 68,500円 11節-役務費 ・郵送料 1,000円×570人=570,000円 ④地方公共団体	生涯学習課	R3.4.16	R3.6.4	1,520,695	1,520,695		1,520,000		695 委託料 490,800円、記念品購入 562,060円、印刷代 60,500円、消耗品 8,448円、郵送料 398,887円	①非常に効果的であった	成人式の代替事業を無観客で実施しライブ配信することにより、県をまたぐ往来や密集することによる感染拡大の要因を避けられ、参加者及び関係者の健康と安全を確保することができた。 また、記念品の充実を図ることにより、新成人に激励の思いを伝えることができ、菓子等の調達や梱包作業を障がい福祉サービス事業所へ委託することで、事業所運営の支援につながった。
6	単独	食べて応援!おいしい店テイクアウトキャンペーン事業	①テイクアウト利用に対するインセンティブを付与することで、感染防止と消費喚起を図る。 ②テイクアウト利用に対するインセンティブ(1,000円以上の利用に対して地域通貨500ポイント)の付与に要する経費に充当。 ③ 18節-負担金補助及び交付金 ・事業補助金 5,731千円 (内訳) ・付与ポイント 500円×7,500件、手数料 3,750千円×0.25 印刷製本費 20円×153店舗×5部×1.1・20円×20,000部×1.1 広告宣伝費 440千円、事務費 146千円 ④岡谷商工会議所 Fその他は、特別警報Ⅱ発出市町村飲食業等支援交付金(県補助金)	商業観光課	R3.4.27	R3.12.22	5,674,261	5,674,261		1,674,000		4,000,261 岡谷商工会議所への補助金 5,674,261円 付与ポイント件数 7,500件	①非常に効果的であった	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた飲食店を支援するとともに、地域内のキャッシュレスの推進ができた。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	補助・単独	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	所管課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費(A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)				事業実施状況	1.事業効果 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった	2.事業効果の具体的な理由
								国庫補助額(C)	交付金充当経費(D)	起債額(E)	その他(F)			
7	単独	信州の安心なお店応援事業	①長野県が実施する「信州の安心なお店」への登録を条件として、家賃補助及び感染防止対策奨励金を交付することで、感染防止対策の徹底と事業者(飲食店)の事業継続を図る。 ②家賃補助及び奨励金の交付に要する経費に充当。 ③ 01節-報酬 ・会計年度任用職員 1,573千円×1名=1,573千円 03節-職員手当等 ・期末手当 68千円×1名=68千円 04節-共済費 238千円×1名=238千円 18節-負担金補助及び交付金 ・飲食店家賃補助金 140千円×50件=7,000千円(上限:7万円/月、2か月まで) ・感染防止対策奨励金 100千円×200件=20,000千円(一律10万円) 11節-役務費 ・広告宣伝費 700千円(@50千円×7回×2社) 10節-需用費 ・チラシ作成費 100千円(@25×1000枚×4回)、ポスター作成費 100千円 消耗品費 300千円 ④市内飲食店 Fその他は、特別警報Ⅱ発出市町村飲食業等支援交付金(県補助金)	商業観光課	R3.4.27	R3.12.20	27,637,594	27,637,594		22,237,000	5,400,594	家賃補助 86件 9,366,000円 感染防止対策奨励金 155件 31,000,000円 人件費 1,781,335円、広告料 450,945円、印刷代 159,500円、消耗品 380,149円 合計 43,137,929円のうち、27,637,594円	①非常に効果的であった	売上が減少している事業者に対して、事業の継続につながる支援を実施することができた。
8	単独	岡谷キャッシュレス決済消費喚起事業	①感染症の影響により売上の減少が続いている店舗を支援するため、キャッシュレス決済利用者に対するポイント還元を行うことで、消費喚起を図るとともにキャッシュレス決済を促進する。 ②キャッシュレス決済に利用者に対するポイント還元経費に充当。 ③ 18節-負担金補助及び交付金 ・ペイペイ決済還元(20%還元) 100,000千円 ・オカヤペイ決済還元(30%還元) 10,000千円 12節-委託料 ・事業運営委託料 4,900千円(内訳) ポスター、チラシ等印刷製本費 2,178千円、郵送料 294千円、広告宣伝費 1,015千円 臨時職員人件費 698千円、消耗品費 270千円、消費税等 445千円 10節-需用費 ・消耗品費 100千円 ④地方公共団体、岡谷商工会議所 Fその他は、特別警報Ⅱ発出市町村飲食業等支援交付金(県補助金)	商業観光課	R3.5.17	R4.1.17	108,734,585	108,734,585		63,734,000	45,000,585	ポイント付加分負担金 105,772,290円、委託料 2,962,295円	①非常に効果的であった	売上が減少している事業者に対して、事業の継続につながる支援を実施することができた。
9	単独	行政事務交付金追加事業	①市内各自治区における感染予防として、公会所等で使用するマスク、消毒液、ハンドソープ等を購入し対策を徹底するための経費として交付金を交付する。 ②行政事務交付金の追加分に充当。 ③ 18節-負担金補助及び交付金 ・50千円×21地区=1,050千円 ④市内21自治区	秘書広報課	R3.5.17	R3.6.10	1,050,000	1,050,000		1,050,000		交付件数 21地区 1,050,000円	①非常に効果的であった	公民館には、多くの区民の方が来館するため、消毒液や飛沫シートなど設置して感染防止に努めることができた。
10	単独	公衆無線LAN環境整備事業	①コロナ禍による東京一極集中に対する危機意識や新しい働き方などの動きを後戻りさせることなく関係人口を創出・拡大するため、市内にテレワーク、リモートワークが実施可能なスペースを整備し、域外から人を呼び込み、さらには感染症収束後の地域経済の回復を図る。 ②一般利用のある公共施設への公衆無線LAN環境整備に要する経費に充当。 ③ 12節-委託料(内訳) 市役所庁舎 652千円、長地支所 613千円、川岸支所 613千円、湊支所 613千円 市民総合体育館 453千円、生涯学習活動センター 1,546千円 おかや総合福祉センター 1,716千円 ④ 市役所庁舎、市内3支所、市民総合体育館、生涯学習活動センター おかや総合福祉センター	秘書広報課	R3.6.23	R3.10.15	6,941,000	6,941,000		6,206,000	735,000	設置施設数 7施設 委託料 6,941,000円	①非常に効果的であった	フロア全体でWi-Fiが使えるようになったことから、各施設の利用者による学習や調査、動画視聴など積極的な活用が図られた。
12	単独	諏訪湖ハイツ新型コロナウイルス感染症対策環境整備事業	①おかや総合福祉センター(諏訪湖ハイツ)における感染対策を徹底することで、利用者の安全・安心を確保する。 ②トイレの非接触対応(水栓改修)、窓口へのアクリルパネル設置に要する経費に充当。 ③ 14節-工事請負費 ・トイレ洗面台の水栓改修 118千円×15箇所=1,770千円 ・トイレ洗面台の水栓改修 5千円×26箇所=130千円 17節-備品購入費 ・アクリルパネル 11.5千円×10台=115千円 ④おかや総合福祉センター	社会福祉課	R3.10.4	R4.2.28	1,866,920	1,866,920		1,866,000	920	工事請負費 1,760,000円、備品購入費 106,920円 自動水栓設置箇所数 17箇所 感染防止パネル 30枚	①非常に効果的であった	感染予防の強化が図られ、施設利用者の安全確保に繋がった。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	補助・単独	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	所管課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費(A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)				事業実施状況	1.事業効果 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった	2.事業効果の具体的な理由
								国庫補助額(C)	交付金充当経費(D)	起債額(E)	その他(F)			
13	単独	イルプラザ新型コロナウイルス感染症対策環境整備事業	①イルプラザにおける感染対策を徹底することで、利用者の安全・安心を確保する。 ②トイレの非接触対応(水栓改修)、自動ペーパーカッター設置に要する経費に充当。 ③ 18節-負担金補助及び交付金 ・共益費負担金 1,000千円(内訳) ・トイレ洗面台の水栓改修 60千円×10箇所=600千円 ・トイレ洗面台の水栓改修 70千円×5箇所=350千円 ・自動ペーパーカッターの設置 25千円×2台=50千円 ④イルプラザ	商業観光課	R3.10.4	R4.3.30	1,000,000	1,000,000		1,000,000		イルプラザ管理組合への負担金 1,000,000円 自動水栓設置 15箇所 自動ペーパーカッターの設置 2箇所	①非常に効果的であった	不特定多数の方が利用する商業施設であるため、より衛生的に安心して利用していただけるようになった。
14	単独	図書館新型コロナウイルス感染症対策環境整備事業	①感染症の影響による外出自粛により、「読書」に対するニーズが高まっていることから、市立岡谷図書館における感染対策を徹底することで、利用者の安全・安心を確保する。 ②サーモグラフィカメラの設置、児童図書コーナーのカーペット及びベンチ式書棚の抗菌改修に要する経費に充当。 ③ 14節-工事請負費 ・児童図書コーナー等の抗菌改修 1,000千円×1箇所=1,000千円 17節-備品購入費 ・サーモグラフィカメラ 271千円×1台=271千円 ④市立岡谷図書館	図書館	R3.10.4	R3.11.30	1,109,900	1,109,900		1,109,900	900	工事請負費 958,100円、備品購入費 151,800円 サーモグラフィカメラ 1台	①非常に効果的であった	キッズコーナーは、ハイハイする赤ちゃんなどが利用することが多く、衛生面も考え、カーペットを部分洗浄が可能なジョイント式のものに替え、素材も抗菌、菌の抑制効果が期待出来るものにしたため、幼児もより安心して利用出来ている。 発熱者が施設内に入ることを未然に防ぐことができ、施設の安全性が確保された。
15	単独	スポーツ施設新型コロナウイルス感染症対策環境整備事業	①スポーツ施設における感染対策を徹底することで、利用者の安全・安心を確保する。 ②トイレの非接触対応(自動水栓)に要する経費に充当。 ③ 14節-工事請負費 ・トイレ洗面台の自動水栓 87.6千円×10箇所=876千円 ・トイレ洗面台の自動水栓 92千円×22箇所=2,024千円 ④市民総合体育館	スポーツ振興課	R3.10.4	R4.2.9	2,640,000	2,640,000		2,640,000		工事請負費 2,640,000円 自動水栓設置 35箇所(内訳) 市民総合体育館 21箇所 市民水泳プール 5箇所 やまびこ国際スケートセンター 9箇所	①非常に効果的であった	手洗いの自動水栓化により、各施設利用者の接触機会を減らすことができ、感染防止対策としての効果が得られた。
16	単独	市役所庁舎新型コロナウイルス感染症対策環境整備事業	①市役所庁舎における感染対策を徹底することで、利用者の安全・安心を確保する。 ②トイレの非接触対応(自動水栓)に要する経費に充当。 ③ 14節-工事請負費 ・トイレ洗面台の自動水栓 93,750円×16箇所=1,500千円 ④市役所庁舎	総務課	R3.10.4	R4.2.9	1,386,000	1,386,000		1,386,000		工事請負費 1,386,000円 自動水栓設置 16箇所	②効果的であった	不特定多数が接触する機会を自動水栓化により削減することができ、感染拡大防止に効果があつたと考えられる。
17	単独	岡谷健康福祉施設新型コロナウイルス感染症対策環境整備事業	①岡谷健康福祉施設(ロマネット)における感染対策を徹底することで、利用者の安全・安心を確保する。 ②トイレの非接触対応(自動水栓)に要する経費に充当。 ③ 14節-工事請負費 ・トイレ洗面台の自動水栓 140千円×21箇所=2,940千円 ・トイレ洗面台の自動水栓 160千円×1箇所=160千円 ④岡谷健康福祉施設	健康推進課	R3.10.4	R3.12.21	2,530,000	2,530,000		2,530,000		工事請負費 2,530,000円 自動水栓設置 22箇所	②効果的であった	トイレ洗面台を自動水栓にすることにより、手洗いが非接触となり感染対策が徹底でき、利用者の安全・安心が確保できた。
18	単独	防災資機材整備事業	①有事の際に避難所となる市内各自治区の公会所等に感染防止資機材を配備する。 ②避難所開設時の感染防止に必要な資機材の購入に要する経費に充当。 ③ 17節-備品購入費 ・簡易パーテーション 47千円×100台×1.1=5,170千円 ・簡易ベッド 10.5千円×50台×1.1=577.5千円 ④地方公共団体	危機管理室	R3.10.4	R4.1.14	5,128,200	5,128,200		5,128,000	200	備品購入費 5,128,200円 避難所用間仕切りパーテーション 400セット 避難所用段ボールベット 60台	①非常に効果的であった	避難所の感染防止対策及び避難所環境の改善を図ることができた。
19	単独	Web会議環境拡充事業	①感染防止対策としてWeb会議の常態化により不足する関係機器を増備し、Web会議環境を整える。 ②Web会議用のPC、マイク&スピーカーセットの購入に要する経費に充当。 ③ 12節-委託料 ・機器設定 225千円 17節-備品購入費 ・ノート型PC 105千円×5台=525千円 ・マイク&スピーカーセット 70千円×5台=350千円 ④地方公共団体	秘書広報課	R3.10.4	R3.12.22	889,009	889,009		889,000	9	備品購入費 669,009円、委託料 220,000円 ノートPC、Webカメラ、マイク、スピーカー 各5台	①非常に効果的であった	Web環境の拡充により、各部署でWeb会議が重複した場合においても、滞りなく開催・参加することができた。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	補助・単独	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	所管課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費(A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)				事業実施状況	1.事業効果 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった	2.事業効果の具体的な理由
								国庫補助額(C)	交付金充当経費(D)	起債額(E)	その他(F)			
20	単独	中小企業事業再構築促進事業奨励金	①感染症拡大の影響を受けている事業者の新たな取組を支援するため、新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編等、思い切った事業再構築に挑戦する事業者に対して奨励金を交付し、付加価値額の増加及び事業継続を後押しする。 ②国の「中小企業等事業再構築促進事業」の交付決定を受けた事業者への奨励金に充当。 ③ 18節-負担金補助及び交付金 ・総事業費45,000千円以下の事業 250千円×6社=1,500千円 ・総事業費45,000千円超の事業 500千円×30社=15,000千円 ④市内事業者	工業振興課	R3.10.4	R4.3.30	7,128,000	7,128,000	7,128,000			補助件数 17件 7,128,000円	①非常に効果的であった	市内中小企業者の未来に向けた新分野展開、業態転換、事業・業種転換等の取組及び事業再編又はこれらの取組を通じた規模の拡大等の思い切った事業再構築を支援し、ウィズコロナ・ポストコロナ時代の社会経済の変化への対応を図るとともに、市内企業のより一層の成長を促進できた。
21	単独	がんばれ岡谷 秋の消費喚起事業	①感染症の影響により売上の減少が続いている店舗を支援するため、キャッシュレス決済利用者に対するポイント還元を行うことで、消費喚起を図るとともにキャッシュレス決済を促進する。 ②キャッシュレス決済に利用者に対するポイント還元経費に充当。 ③ 10節-需用費 ・消耗品費 10千円 12節-委託料 ・事業運営委託料 4,590千円(内訳) PayPay運営手数料 2,800千円、ポスター、チラシ等印刷製本費 672千円 郵送料 300千円、広告宣伝費 400千円、消費税等 418千円 18節-負担金補助及び交付金 ・ペイペイ決済還元(10%還元) 60,000千円 ・オカヤペイ消費喚起 1,000千円 ④地方公共団体、岡谷商工会議所 Fその他は、特別警報Ⅱ発出市町村飲食業等支援交付金(県補助金)	商業観光課	R3.10.4	R4.3.7	43,305,426	43,305,426	11,705,000		31,600,426	消耗品費 8,248円、委託料 3,646,026円、ポイント付加分負担金 39,651,152円	①非常に効果的であった	売上が減少している事業者に対して、事業の継続につながる支援を実施することができた。
22	単独	「信州の安心なお店」応援等拡充事業	①長野県が実施する「信州の安心なお店」への登録を条件として市が交付する感染防止対策奨励金の対象者を拡充するとともに、飲食店の奨励金を拡充し、感染防止対策の徹底と事業者の事業継続を図る。 ②奨励金の交付に要する経費に充当。 ③ 18節-負担金補助及び交付金 ・感染防止対策奨励金 100千円×333件=33,300千円(一律10万円) ④市内事業者	商業観光課	R3.5.17	R3.12.20	17,700,000	17,700,000	17,700,000			奨励金支給件数 177件 17,700,000円	①非常に効果的であった	売上が減少している事業者に対して、事業の継続につながる支援を実施することができた。
23	単独	「信州の安心なお店」クーポン券発行支援事業	①長野県が実施する「信州の安心なお店」認証店舗において発行するクーポン券利用額の一部を支援金として飲食店に交付することで、飲食店における「信州の安心なお店」の認証促進と経営支援を図る。 ②支援金の交付に要する経費に充当。 ③ 01節-報酬 ・会計年度任用職員 858千円×1名=858千円 03節-職員手当等 ・期末手当 50千円×1名=50千円 04節-共済費 125千円×1名=125千円 10節-需用費 ・消耗品費 300千円 11節-役務費 ・広告宣伝費 100千円(@50千円×2社) 18節-負担金補助及び交付金 ・飲食店支援金 100千円×140件=14,000千円(上限:10万円/事業者、店舗発行額の20%以内) ④市内飲食店	商業観光課	R3.10.4	R4.3.31	8,849,078	8,849,078	8,849,000		78	支援金支給件数 90件 7,950,100円 人件費 638,539円、消耗品費 228,476円、 広告宣伝費 92,895円、 合計8,910,010円のうち、8,849,078円	①非常に効果的であった	売上が減少している事業者に対して、事業の継続につながる支援を実施することができた。
24	単独	高齢者インフルエンザ予防接種事業	①新型コロナウイルス感染症については、高齢者が特に重症化しやすいとされている。また、例年冬季にはインフルエンザが流行している。こうしたことから、高齢者インフルエンザ予防接種を公費にて実施することで、新型コロナウイルス感染症との二重の感染を防ぎ高齢者の生命を守るとともに、入院・通院を抑制することで安定した地域医療提供体制を維持する。 ②高齢者インフルエンザ予防接種の実施に要する経費に充当する。 ③予防接種委託料 4730円×800回、予防接種委託料 3530円×8000回 ④市内65歳以上高齢者(市が委託して実施)	健康推進課	R3.4.1	R3.11.4	31,829,095	31,829,095	21,459,000		10,370,095	予防接種人数 9,324人 38,994,920円のうち、31,829,095円 接種率 57.25%(成果指標:50%)	②効果的であった	高齢者インフルエンザ予防接種の費用の一部負担を実施することで、新型コロナウイルス感染症との二重の感染を防ぎ高齢者の生命を守るとともに、入院・通院を抑制することで安定した地域医療提供体制を維持することができた。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	補助・単独	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	所管課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費(A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)				事業実施状況	1.事業効果 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった	2.事業効果の具体的な理由	
								国庫補助額(C)	交付金充当経費(D)	起債額(E)	その他(F)				
25	単独	岡谷市病院事業会計繰出	①岡谷市立岡谷市民病院は、第二種感染症指定医療機関としてコロナ患者を受け入れつつ、地域医療の核を担う総合病院として通常診療を行っているが、コロナ患者を受け入れていることに対する地域住民の警戒心は強く、入院・外来患者数は令和元年度を大きく下回り病院経営を圧迫している。こうしたことから、コロナ対応という特別な診療を行いながら、質の高い医療を安定的かつ継続的に地域に提供していくため、入院・外来収益減収分に対して、市一般会計と病院事業会計との調整により支援する。(病院事業会計上、人件費以外の経費に充当) ②令和元年度比、入院・外来収益減収分の1/4に対する繰出金に充当する。 ③令和元年度 延べ外来患者 163,937人 外来収益 1,888,501千円 延べ入院患者 89,447人 入院収益 3,811,281千円 令和3年度見込み 延べ外来患者 154,525人 外来収益 1,777,932千円 延べ入院患者 76,321人 入院収益 3,462,615千円 入院外来収益減収 459,235千円 病院事業会計繰出 459,235千円 × 1/4 = 114,000千円 ④岡谷市民病院	企画課 財政課	R3.2.15	R4.2.18	114,000,000	114,000,000		90,000,000		24,000,000	岡谷市民病院への負担金 114,000,000円 コロナ患者の受入拒否 0件(成果指標:0件)	②効果的であった	コロナ対応による入院・外来収益減収分に対する負担金を支出したことにより、安定的・継続的に質の高い医療の提供が可能となった。
26	単独	岡谷健康福祉施設感染症対策支援事業	①公の施設(岡谷健康福祉施設ロマネット)の適正な運営を支援するとともに、施設における感染防止対策を徹底するため、指定管理者(利用料金制)を支援する。(https://www.city.okaya.lg.jp/) ②感染症の拡大による影響を受けていて、かつ利用料金制を導入している指定管理者に対する支援金に充当する。 ③30,000千円(年間維持管理経費見込額100,000千円 × 0.3(施設の管理運営に要する経費の3割を上限とする)) ④指定管理者	健康推進課	R3.2.15	R4.3.18	20,000,000	20,000,000		20,000,000			岡谷健康福祉施設(ロマネット)への負担金 20,000,000円 施設内における感染者0人(成果指標:0人)	②効果的であった	感染拡大に伴い感染防止対策のため、時短営業や利用制限を実施しながらの運営であったが、適正な運営が行われた。また成果指標である施設内における感染者数は0人で成果指標も達成できた。
27-1	補助	子ども・子育て支援交付金	(放課後児童クラブ等におけるICT化推進事業) ①ウイズコロナ下での新しい暮らしのスタイル確立に向けた取組として、学童クラブのICTを推進する。 ②市内全13学童クラブのICT化に要する経費に充当する。 ③ 12節-委託料 ・ネットワーク整備@314.3千円 × 7箇所 = 2,200.1千円 ・ネットワーク設定委託@210千円 × 一式 = 210千円 ・ソフトウェア設定委託@90千円 × 一式 = 90千円 13節-使用料及び賃借料 ・ライセンス使用料@50千円 × 一式 = 50千円 17節-備品購入費 ・大型ディスプレイ@300千円 × 1台 = 300千円 ・マイク&スピーカー@48千円 × 1セット = 48千円 ・パソコン等@156.62千円 × 13クラブ = 2,036千円 ・プリンタ等@252千円 × 7クラブ = 1,764千円 ④地方公共団体 Fその他は、子ども・子育て支援交付金(県交付金)	教育総務課	R3.6.23	R4.1.12	6,531,024	6,531,024	2,177,000	1,500,000		2,854,024	委託料 3,168,000円、備品購入費 2,530,000円 ノートPC 13台 プリンタ 7台 設置学童数 13学童(成果指標:全13学童クラブ室にパソコンを設置)	②効果的であった	パソコンを活用することにより、各学童クラブで電子化による管理が図られ、事務の効率化に繋がった。また、庁内ネットワークによる情報共有が可能となった。
27-2	補助	子ども・子育て支援交付金	(文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業) ①岡谷市文化会館における感染対策を徹底することで、利用者の安全・安心を確保する。 ②トイレ等の非接触対応(水栓改修、自動照明)、空調改修(空気循環機能強化)等に要する経費に充当。 ③ 14節-工事請負費 ・トイレ洗面台の水栓改修@70.95千円 × 37箇所 = 2,625千円 ・トイレの自動照明@68.75千円 × 4箇所 = 275千円 ・空調設備改修@5,400千円 × 一式 = 5,400千円 17節-備品購入費 ・サーモグラフィカメラ@271千円 × 1台 = 271千円 うち国庫補助事業分8,570千円 ④岡谷市文化会館(カノラホール)	健康推進課	R3.6.23	R4.1.30	8,210,763	8,210,763	4,105,000	4,105,000		763	委託料 297,000円、使用料 31,333円、 備品購入費 504,691円 Web会議用機器(ノートPC・Webカメラ・マイク & スピーカーセット 等) 1台	②効果的であった	オンラインでの相談や教室ができるようになり、感染リスクを減らしながら事業を継続することが可能になった。
28	補助	文化芸術振興費補助金	(文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業) ①岡谷市文化会館における感染対策を徹底することで、利用者の安全・安心を確保する。 ②トイレ等の非接触対応(水栓改修、自動照明)、空調改修(空気循環機能強化)等に要する経費に充当。 ③ 14節-工事請負費 ・トイレ洗面台の水栓改修@70.95千円 × 37箇所 = 2,625千円 ・トイレの自動照明@68.75千円 × 4箇所 = 275千円 ・空調設備改修@5,400千円 × 一式 = 5,400千円 17節-備品購入費 ・サーモグラフィカメラ@271千円 × 1台 = 271千円 うち国庫補助事業分8,570千円 ④岡谷市文化会館(カノラホール)	ブランド推進室	R3.6.23	R4.1.30	8,210,763	8,210,763	4,105,000	4,105,000		763	工事請負費 8,124,600円、備品購入費 86,163円 サーモグラフィカメラ 1台 自動水栓 37箇所 自動照明 4箇所 施設利用における感染者0人(成果指標:施設利用における感染者0人)	①非常に効果的であった	感染対策に有効な館内の空調設備、トイレでの接触感染のリスクを軽減する非接触化(照明・手洗い自動洗浄・洋式化)が図られたことで、来館者の感染リスクが低減された。また、サーモグラフィカメラの設置により、効率的に来館者の体調把握をすることができ、感染者の発生を未然に防ぐことができた。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	補助・単独	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	所管課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費(A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)				事業実施状況	1.事業効果 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった	2.事業効果の具体的な理由
								国庫補助額(C)	交付金充当経費(D)	起債額(E)	その他(F)			
29	補助	文化芸術振興費補助金	(文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業) ①日本童画美術館における感染対策を徹底することで、利用者の安全・安心を確保する。 ②感染症対策消耗品(消毒液)、トイレの非接触対応(水栓改修)、空調改修(空気循環機能強化)等に要する経費に充当。 ③ 10節-需用費 ・消毒液@9.8千円×10箱=98千円 14節-工事請負費 ・トイレ洗面台の水栓改修@60千円×5箇所=300千円 ・空調設備改修@10,800千円×一式=10,800千円 17節-備品購入費 ・サーモグラフィカメラ@271千円×1台=271千円 うち国庫補助事業分11,401千円 ④日本童画美術館	ブランド推進室	R3.6.23	R4.1.27	9,710,082	9,710,082	4,855,000	4,855,000	82	需用費 97,919円、工事請負費 9,526,000円、備品購入費 86,163円 自動水栓 5箇所 サーモグラフィカメラ 1台 施設利用における感染者0人(成果指標:施設利用における感染者0人)	①非常に効果的であった	感染対策に有効な館内の空調設備、トイレでの接触感染のリスクを軽減する非接触化(照明・手洗い自動洗浄・洋式化)が図られたことで、来館者の感染リスクが低減された。また、サーモグラフィカメラの設置により、効率的に来館者の体調把握をすることができ、感染者の発生を未然に防ぐことができた。
30	補助	文化芸術振興費補助金	(文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業) ①岡谷蚕糸博物館における感染対策を徹底することで、利用者の安全・安心を確保する。 ②来館者用サーモグラフィカメラの購入に要する経費に充当。 ③ 17節-備品購入費 ・サーモグラフィカメラ@271千円×1台=271千円 ④岡谷蚕糸博物館(シルクファクト岡谷)	ブランド推進室	R3.6.23	R3.7.26	86,163	86,163	43,000	43,000	163	備品購入費 86,163円 サーモグラフィカメラ 1台 施設利用における感染者0人(成果指標:施設利用における感染者0人)	①非常に効果的であった	サーモグラフィカメラの設置により、効率的に来館者の体調把握をすることができ、感染者の発生を未然に防ぐことができた。
31	補助	文化芸術振興費補助金	(文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業) ①岡谷美術考古館における感染対策を徹底することで、利用者の安全・安心を確保する。 ②トイレの非接触対応(水栓改修)、空調改修(空気循環機能強化)等に要する経費に充当。 ③ 14節-工事請負費 ・トイレ洗面台の水栓改修@100千円×2箇所=200千円 ・空調設備改修@9,700千円×一式=9,700千円 17節-備品購入費 ・サーモグラフィカメラ@271千円×1台=271千円 うち国庫補助事業分10,116千円 ④岡谷美術考古館	美術考古館	R3.6.23	R4.1.11	9,876,163	9,876,163	4,938,000	4,938,000	163	工事請負費 9,790,000円、備品購入費 86,163円 サーモグラフィカメラ 1台 施設利用における感染者0人(成果指標:施設利用における感染者0人)	①非常に効果的であった	・館入口にサーモグラフィカメラ1台を設置して検温し、利用者の安全・安心の確保に努めた。自動測定のため職員の手間がかからず有効だった。 ・トイレ洗面台は非接触型水栓になり、より衛生的になった。 ・空調改修により展示室の空気循環機能が強化され、芸術鑑賞環境を向上できた。
合計							450,619,379	450,619,379	16,118,000	310,420,000	0	124,081,379		